

会のあり方検討「step1：これまでの棚卸」の実施報告と提言

I 実施報告

(1) 開催実績

日時			内容	
8月	3日	9:30~11:00	① 「池上のいま」を知る(その1)	@ ノミガワスタジオ(安部啓祐)
	17日	16:00~17:30	② 「池上のいま」を知る(その2)	@ SANDO(敷浪一哉、中嶋哲矢)
9月	3日	14:00~16:00	③ 成果と課題の振り返り	@ ワークショップ
	17日	13:30~15:30	④ 活動目的の再検討(その1)	@ ワークショップ
	30日	13:30~15:30	⑤ 活動目的の再検討(その2)	@ 車座ディスカッション

※ ③~⑤はファシリテーターとしてNPO法人CRファクトリー(豊田有希)が参加

(2) 議論の概要

① 「池上が好きな人」が活動のターゲット

「池上のいま」を知る」では、「池上内」のみならず、「池上外」からの多様な人材が、池上への思いや興味を持ち、まちに関わろうとしていることを認識した。池上の内外を問わず、こうした人々の「池上でやりたい」を実現していくことが、新たなまちの力になっていく。

② 「つながり」「コラボレーション」という価値観に共感

まちが住みやすく・魅力的であるためには、地域の土台となる「人のつながり」が最も大切である。当会は活動を通じて「人のつながりを作り出すこと」に価値を置く。また池上の内外を問わず、さまざまな発想・能力を持つ人々との「コラボレーション」が、更なる活動の楽しみ・充実へとつながる。

③ 会への多様な人材の関わりを期待

活動に際しては、老若男女、さまざまな人々に参加をしてほしい。そのためには、活動目的に賛同できる人を募るとともに、参加へのハードルは低く、「会との接点をつくる仕組み」が必要となる。

2 提言

(1) 会の活動目的

これまでの議論を踏まえ、これからの当会は、以下の活動目的を掲げる。

池上地区まちおこしの会は「池上を好きな人たち」が、「人とのつながり」を大切に、「池上でやりたいこと」を実現することで、池上がいきいきとした魅力あるまちになることを目的に活動する。

(2) ステップ2における議論の方向性

活動目的を実現していくため、池上地区における当会は、地域の「内と外」をつなぐ存在となる。また、「外から内へ」の流れを生み出すため、池上地区の各種団体と連携をしながら、会の事業・組織を再編していく。

池上地区まちおこしの会 あり方検討 (step1)

■ 2021年6月11日 第2回役員会

- 1 池上の現状・課題

■ 2021年8月3日, 17日 「池上のいま」を知る

- 2 「池上のいま」を知る

■ 2021年9月3日 成果と課題の振り返り

- 3 「“池上のいま”を知る」に参加した気づき
- 4 会の強み・弱み（出来た or 出来なかったこと）

■ 2021年9月17日 活動目的の再検討（その1）

- 5 「ありたい姿」と「そのための企画や仕組み」（内外の視点から）
- 6 多様な人材の関わり方（意見交換の論点）

■ 2021年9月30日 活動目的の再検討（その2）

- 7 会が目指すべきもの（目的）



人口・世帯は増えつつも高齢化

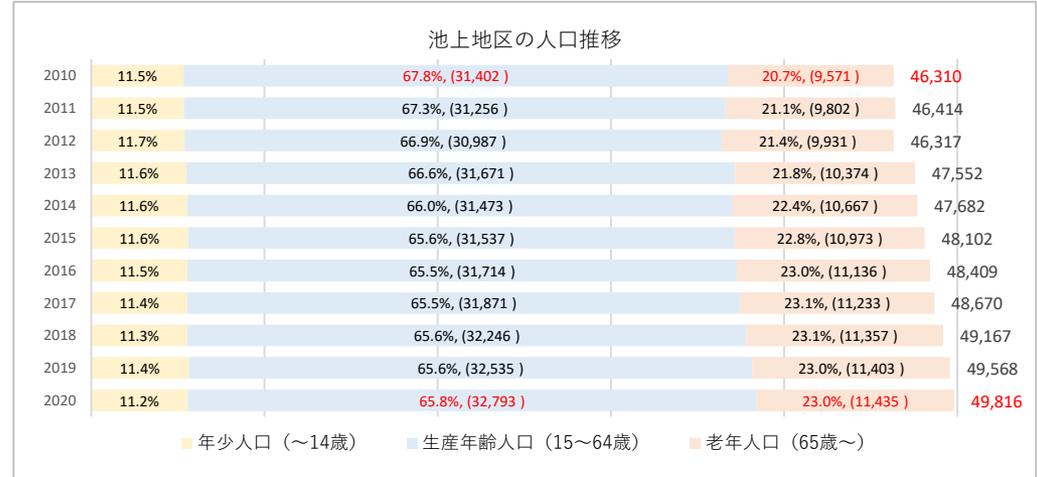
	生産年齢人口	老年人口
2010年	67.8%	20.7%
2020年	65.8%	23.0%

高齢化率は区内平均を上回る

	大田区	池上
2010年	20.6%	20.7%
2020年	22.6%	23.0%

町会属性ではない世帯が増加

	町会加入率	加入世帯数
2010年	69.6%	15,088世帯
2020年	59.3%	14,454世帯



※ 池上三丁目、南馬込六丁目の全番地を含む。

出典：大田区住民基本台帳から作成



出典：大田区政ファイルから作成

- 様々な角度から、**まちづくり機運**が高まっている

まちづくりの動き@池上

2015年	・池上地区まちづくり協議会発足
2016年	・池上改造構想
2018年	・池上地区まちづくりガイドライン
2019年	・池上地区まちづくりグランドデザイン ・地域力を活かした公民連携によるまちづくりの推進に関する基本協定（大田区・東急） →池上エリアリノベーションプロジェクト開始
2021年	・新池上駅舎が竣工（95年ぶり建替え）



- **多様な価値観・経験・能力**を持った人が集まりつつある

何かしらの思いを持った人たちが主体的に活動

→ 新たなまちのエネルギーを生みしている

- ex. 本を介した地域交流（ブックスタジオ）
多世代ダンススタジオ（つながるwacca）
若手商店主会の復活（本門寺通り商店会）



第1回：ノミガワスタジオ (8/3)

- 双方の活動紹介をした後、意見交換を実施。会活動のターゲットや組織の作り方について先方から質問があり、経緯や現状を踏まえ議論した。
- また、参加の糸口や活動の持続性をいかに担保するか、地域活動における「まち」「人」の関係をどのように捉えるかについて、意見を交わした。



第2回：SANDO (8/17)

- 双方の活動紹介をした後、意見交換を実施。SANDOにおけるまちづくり人材の発掘、本門寺通り商店会事業部の活動経緯をヒントに、会の運営について議論した。
- また、先方として今後取り組みたいこと（ジャンケン大会）や本門寺通り商店会とまちおこしの会との連携について、前向きな意見が交わされた。



3 「“池上のいま”を知る」に参加した気づき

「まちおこしの会」に対する気づき

事業面の課題

- **誰に対して?** … 活動ターゲットの明確化
- **何をやる?何のため?** … まち・相手を踏まえた事業
→ 「**つながり**」づくり … **地域のコミュニケーション**が目的

運営面の課題

- **資金難** … **資金確保**の方法
- **人材不足** … **参加の仕組み**づくり
→ **組織の見直し** … **関係者が多く、利害が絡む**
→ **会との接点**づくり … **会への入口**を作る

「ノミガワスタジオ・SANDO」に対する気づき

関わりたくなる場づくり

- **居心地の良さ** … 油断できる、縁側のような、気軽さ
- ① **価値観を共有**できる … **賛同**できる人と活動する
→ **楽しい** … **楽しいことが正しい**
→ **安心感** … **否定**されない
- ② **運営のコツ**
→ **仕掛け人の思い** … **小さくても熱量のある活動**
→ **ターゲット** … **まちの動きや課題に敏感**
→ **仲間を募る** … **ゆる〜く参加**できる仕組み

「まちの動き」に対する気づき

池上に関わる人の多様性

- **いろんな人がいる** … 池上の人脈をつなぐ人
… 池上内外の人による発想・企画
… 多様な人材が区外から池上へ

■ 池上でこんなことをやったら面白い!

- **池上まつりの刷新** … まち全体で開催、期間開催など
- **世界じゃんけん大会** … 誰も損をしない、単純に楽しい
- **池上の魅力発信** … フォトウォーク、風景画展など
- **その他** … 踊り、着物歩き、シニア大いに語る

4 会の強み・弱み（出来た or 出来なかったこと）

成果と課題の振り返り
(2021年9月3日)

	弱み	強み	キーワード		
事業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもできる池上まつり ・負担にならない準備が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年同じ催し物になりがち 	<ul style="list-style-type: none"> 池上まつりの開催実績 池上まつりの集客力 	池上まつり	
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関連の企画は難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・青色パトロールの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学校とのつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の防犯ポスター募集 ・青パト運行の定着 	防犯
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災部会の活動がいまいち 		<ul style="list-style-type: none"> 住民参加の講習会を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・バタバタ避難所訓練 	防災
			<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツゴミ拾いも充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポゴミでの商店の品物提供 	環境
運営	<ul style="list-style-type: none"> スポンサー探し 	<ul style="list-style-type: none"> 資金不足 		財政力	
	<ul style="list-style-type: none"> 変化への対応力 	<ul style="list-style-type: none"> 人手不足 		運営力	
	<ul style="list-style-type: none"> 商店会との関係構築 	<ul style="list-style-type: none"> 新たなネットワークづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町会と協力体制 	<ul style="list-style-type: none"> 既存ネットワークの継続 	ネットワーク
	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代の巻き込み 	<ul style="list-style-type: none"> 運営メンバーの固定化 	<ul style="list-style-type: none"> シニア世代のつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・阿吽の呼吸（長い付き合い） 	世代
	<ul style="list-style-type: none"> ・会員向けの定期的発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した情報発信 			情報発信
			<ul style="list-style-type: none"> 継続力 	<ul style="list-style-type: none"> ・19年も活動が続いた 	継続性

ワークショップの様子

成果と課題の振り返り
(2021年9月3日)



5 「ありがたい姿」と「そのための企画や仕組み」（内外の視点から）

顧客・事業・成果の視点(外向き)

ありがたい姿	
多様な人材が地域外から池上に集まる	<ul style="list-style-type: none"> 池上まつりに大手メディアが取材に来る 池上外の人達とも話し合える 池上内外の人による発想・企画
「つながり・コラボレーション」によるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 世代、属性などに捉われないつながり 人と人がつながるまち“池上” 池上まつり参加者の多様化 池上まつりの企画運営を通じたコミュニケーション 国際色豊かな催し物（池上まつり） また池上まつりやりたいねと言ってもらえる 新たなコラボレーションによる事業展開 地域への恩返しができる仕組み

そのための企画や仕組み	
会の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 会のFacebook / SNSで情報発信 池上の面白い（美味しい）を広報 会の広報部を若手に任せる
事業の企画	<ul style="list-style-type: none"> 池上在住アーティストとコラボ 梅まつりをSANDOと実施 池上まつりへ企画提案（誰でもOK） 池上まつりにおける体験型の催し 親子での参加、競技のようなもの
会理念への賛同	<ul style="list-style-type: none"> 賛同できる人を募る 毎年の活動テーマ設定

会の理念とは

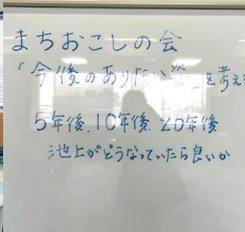
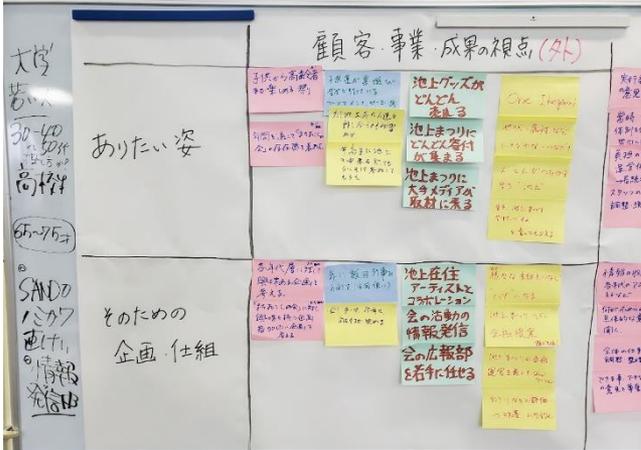
組織・スタッフ・運営の視点(内向き)

多様な人材の参加	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代の方が会の役員を務めている 若い世代の参加 子育て世帯のお母さん方が会の運営に携わる 幅広い年齢層の方に参加してもらいたい 運営ボランティアの入口づくり 負担のない運営参加の仕組み 負担の無い祭りの運営体制（長続きの基本）
安定的な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> 池上まつりにどんどん寄付が集まる 透明性を担保した財政運営
中長期視点の運営	<ul style="list-style-type: none"> まちおこしの会重点事業の選定 運営の改善が毎年行われている

会理念への賛同	<ul style="list-style-type: none"> 正副会長が理念を伝える 広報部会の設立
運営の見える化	<ul style="list-style-type: none"> 手伝ってほしい分野を発信する 事務局業務の見える化 ICTを活用した運営コミュニケーション 積極的な情報公開
歳入の確保	<ul style="list-style-type: none"> 会への寄付（会員問わず理念に共感） 広報収入の強化
目標・事業計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> 5か年計画を作る 活動目標、活動計画を立てる

ワークショップの様子

目的の再検討v1
(2021年9月17日)



6 多様な人材の関わり方（意見交換の論点）

① 共感できたこと
→ 「つながり・コラボレーション」

- ・ 多様な人々が会の活動に参加している
- ・ 池上内外を問わず、新たなコラボレーションによる活動

疑問 ・ 関わってほしい「若い人」とは、どのような年齢層？



認識 ・ 30～50代という想定で概ね一致。

② 若い人も地域で活動している

- ・ 「30～50代は仕事等で忙しく、地域活動への参加は難しい」という意見。

実際 ・ 忙しさに関係なく、実はさまざまな活動に携わっている



なぜ？ ・ 参加を可能にする仕組み（ex. ツール、隙間時間の活用）
・ 理念への共感（ex. 楽しい、大切、興味、メリット）

③ 「関わりづくり」のコツ

- ① 「ステップ」を踏まえた関わり → 入口は低く（ex. いきなり役員を求めない）
- ② 「必要な役割」の定義と発信 → 「何を・どれくらい」手伝って欲しいのか届ける
- ③ 「接点の場」づくり → 取っ掛かりを用意する（急に会員になる人は稀）

池上地区まちおこしの会は「池上を好きな人たち」が、「人とのつながり」を大切にし、「池上でやりたいこと」を実現することで、池上がいきいきとした魅力あるまちになることを目的に活動する。



① 「池上が好きな人」が活動のターゲット

- 「池上内」のみならず、「池上外」からの多様な人材が、池上への思いや興味を持ち、まちに関わろうとしていると認識。
→ こうした人々の「池上でやりたい」を実現していくことが、新たなまちの力になる。

② 「つながり」「コラボレーション」という価値観に共感

- まちが住みやすく、魅力的であるためには、地域の土台となる「人のつながり」が最も大切。
→ 当会は活動を通じて「人のつながりを作り出すことに」に価値を置く。
→ 池上の内外を問わず、さまざまな発想・能力を持つ人々との「コラボレーション」が、更なる活動の楽しみ・充実になる。

③ 会への多様な人材の関わりを期待

- 活動に際しては、老若男女、さまざまな人に参加をしてほしい。
→ 活動目的に賛同できる人を募るとともに、参加へのハードルは低く、「会との接点をつくる仕組み」が必要となる。



池上地区における当会は、地域の「内と外」をつなぐ存在となる。

→ 「外から内へ」の流れを生み出すため、会の事業・組織を再編していく。